

ノベル版

寝取らせ趣味の彼氏くんを
交尾動画で負け犬射精させるでござる

ほろ！えっちらいふ



- Holo ecchi live





おっちゃん♡

うん♡

彼女の名前はいろはちゃん。清楚でかわいい 自慢の彼女だ。
そんな彼女と今日はデートで公園にきている。

いろは「昨日の配信見てくれたでござるか？〇〇殿！マイクラのレースで1位取ったでござるよ！」

彼女が僕に見せつけてきたスマホの画面には配信のアーカイブが再生されており、『おめでとうございます！』『すごいです』『可愛い』などのコメントが流れていく様子が映し出されていた。

〇〇君「すごいねいろはちゃん！えらい！可愛いだけじゃなくてゲームもうまいんだね！」

と言うといろはちゃんは少し怒る素振りを見せ、僕の方をじっと見つめてくる、

〇〇君（これは……褒め方下手だったかなあ……。）

いろは「かっこいい…さむらいでござる…」

〇〇君「え？なんて言ったのいろはちゃん」

彼女が小さな声でぼそっとつぶやいた言葉を聞き取ることができなかった僕は思わず聞き返してしまう。

いろは「ちがうちがうちがうでござるっ！可愛いじゃない、かっこいいって言って欲しいでござるよ！」

〇〇君（まるで駄々っ子の赤ちゃんみたいだ…そこも可愛いんだよなあいろはちゃん）

そう思ってしまいが、それを言うとさらに不機嫌になってしまうのでグッとその言葉を堪え、別の褒め言葉で彼女のご機嫌を取ることにした。

〇〇君「ごめんねいろはちゃん…サムライかっこいい！すごいかっこいいよ！」

それを聞いた彼女はニマニマとした笑顔になり満足した様子でうんうんと何度も首を縦に振った後

「えへへ～、もっと褒めてもいいんでござるよ？」

と、嬉しそうな声を上げるいろはちゃんにまた可愛いと
思ってしまうのであった。そして今日の本題を切り出す事にする。

〇〇君「いろはちゃん！あの実は…お願いがあるんだけど…」

いろはちゃんはきょとんとして可愛らしく小首を傾げる仕草をする。

いろは「なになにー？なんでござるか！？○○殿」

○○君「寝取らせサイトに登録してセックスする様子を動画に撮ってきてほしいんだ！」

いろはちゃん目が点になっている。そしてしばらくの沈黙の後、いろはちゃんはハッと気付いた表情になる。

いろはちゃん「な、何をいってるでござる○○殿っ！！！！そんな事出来ないでござるよ！」

頬が徐々に赤く染まっていくのと同時に、耳まで真っ赤になっている。

○○君「お願い！この通り！真剣に愛してるからこそ趣味は隠したくないんだ！」

僕は土下座をして、真剣な思いを伝えた。いろはちゃんは困惑しているが、真剣さは伝わったようだ。



つんっ

んっ

いろは「こんなところで土下座なんてばっちいでござるよ！
そもそも風〇まだ〇〇殿以外と経験ないから不安でござる
し……」

顔を真っ赤にしてモジモジしながら彼女は言う。。もうひと押し地面に頭を擦り付けて懇願した。

いろは「わかった…わかったでござる。本当一度だけでござるよ！でもその代わり……」

彼女は目を瞑り何か決心をしたような表情で話し始めた。

いろは「終わったら、上書きエッチ必ずして欲しいでござるよ…」

〇〇君「いろはちゃん！！！」

俯いて小さな声で恥ずかしそうにしている彼女の姿を見ると我慢できなくなりそのまま唇を重ねた…

〇〇君「性感帯はなんて書こうか……」

いろはちゃん「そんなの聞かないで欲しいでござる……恥ずかしい…でござるよ」

〇〇君「それじゃあ適当に書いておくね」

ニックネーム：いろは

性感帯：クリトリス・G スポット

好きな体位：バック

趣味：クリオナハマってます。電動デイルド入れながら
電車でバレないようにイクのも大好きな変態です。

要望：ポルチオ責めとか興味あります。おちんちん大きい人に思
いっきりポルチオ挟って欲しいです。あと、彼氏に動画撮る
ように言われたので交尾ごっこしてるトコ撮らせてください。

〇〇君「こんな感じで盛ってみただけどいいかな…」

いろはちゃん「ちょ！ちょっとまって！何でござるかこ
れ！？恥ずかしすぎるでござるよお」

顔を真赤にして照れて下を向いている…いろはちゃんの反
応はやはり最高に可愛いなと思った。しかし、せっかく登
録するのだ、手は抜きたくはない。

〇〇君「いろはちゃんが気持ちよくなってる所全部見せて
欲しい！それに手を抜いたら意味がないよ？大丈夫！僕は
どんないろはちゃんでも受け入れるから」

いろはちゃんも納得したのかしぶしぶといった表情で登録完了ボタンをポチッと押したのだった。

そうするとものすごい速さで返信が来たのである。それも1通ではない、10通以上もメールが送られてきたのだ。内容はどれも似たものだった。

いろはさん可愛いです!お会いしたい!今度会えませんか?寝取らせプレイしてみたいです。(30歳 男性)

いろはさんの彼氏が羨ましい……私とも寝取られセックスしましょう!(24歳 男性)

是非僕にもご奉仕させてください。

(23歳 男性)

etc…….

いろはちゃん「うわっ…なんでござるかこの量……きもちわる……」

引いているようだったが、いろはちゃんのたまに出るこういう所に僕は興奮していたりする。

〇〇君「とりあえずプロフ見て、良さそうなの 3 件くらい選んで見たんだけどどれが良い？」

いろはちゃん「そんな決められないでござるよお…〇〇殿が決めるでござる…」

どうやらいろはちゃんは恥ずかしくて決められないようだ。とりあえずプロフィール欄を見て、即日 OK かつ一番チンポがでかい人をお願いすることにした。

〇〇君「じゃあこの一番チンポがでかい人にしよっか！」

いろは「なんでえ！？どんな決め方でござるかそれえ……？変な人だったら許さないでござるよ！」

〇〇君「都内のラブホテルで今から 1 時間後らしいから行ってらっしゃい！エッチな動画待ってる、好きだよいろはちゃん」

いろはちゃん「もう仕方ないでござるなあ……。それでは行ってくるでござる…」

ラブホテル



ーラブホテルー

男「君がいろはちゃんかメッセージありがとう。すごく可愛いね、写真より実物の方が100倍くらい可愛いよ」

いろは「あ…ありがとうございます。今日はよろしくお願いしますでござる」

男「それじゃあ今日のプレイ内容は、彼氏の為に動画撮影かぁ…中出しあり、鬼ピストンで本気アクメしてる表情をたくさん撮ってくださいかぁ」

男が卑猥な言葉を言うたびに赤くなっていくいろはちゃん。これから行われる事を想像してしまっているようだ。

男「プロフィールもエっろいよねえ、ディルド入れながら電車でアクメしちゃう変態なんだね。もしかしてマゾっ気ある？」

いろは「ご…ござぁ…」

いろはちゃんは恥ずかしさのあまりまともに話せないでいる。男の方はそんないろはちゃんの事を気に入った様子だ。